



おおいたの 地域を担う ひとつくり



「OJIC(オーミック)」とは、O:大分県 J:自治人材 I:育成 C:センターの通称です。

地域づくり交流塾

実施日・会場：第1回 9月18日(火)～20日(木)・豊泉荘
第2回 10月10日(水)～11日(木)・綾ユネスコエコパークセンター他
第3回 11月19日(月)・大分県自治人材育成センター

対象：県職員15名、市町村職員19名

講師：第1回 九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏
イング総合計画株式会社 代表取締役 斉藤 俊幸 氏 他

第2回 宮崎県綾町 綾ユネスコエコパーク推進室 室長 児玉 良次 氏 他

第3回 九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏

政策形成能力の向上や地方創生を担う意欲をもち、地域や組織をリードする職員の育成を目指した『地域づくり交流塾(全3回)』を今年度も実施しました。

第1回は、「地方創生の時代における自治体職員のあり方」や「ファシリテーションによる場づくり(多様な価値の中での合意形成のコツ)」等の講義の他、県内外における地域づくりの様々な事例を学びました。

第2回は、先進地視察として、平成24年に「ユネスコエコパーク」に登録された宮崎県綾町を



訪問し、持続可能な地域づくりの取組や自治体公民館制度の運営を始めとした住民と協働のまちづくりの手法を学びました。講義や視察の他、関係者との意見交換も行い、まちづくりを実践されている方々の熱い想いに触れることができました。

第3回は、全体の振り返りとして「あなたのまちの“ありたい姿”へのアクションを考える」をテーマに、10年後の目標に向けたアクションシートを作成。地域づくりの第1歩を踏み出すことができました。



受講者の声

- ファシリテーションによる引き出す力の必要性、手法等が参考になった。
- 自治体職員としての考え方、人とのつながりの大切さを学びました。多くの人とつながることで、幅が広がることを実感しました。
- この研修で出会った県・市町村職員とつながりができたことは大きな収穫で、同じ志をもった仲間に出会えたことは財産です。

一歩踏み出すきっかけに!! 参加者募集【「創生人材」交流・学習会】

昨年度に引き続き「創生人材」交流・学習会を開催します。公務員の枠にとらわれず幅広く活動したい方や新しいことにチャレンジしたい方、自主活動に興味がある方はぜひご参加ください。

日程：平成31年2月1日(金)

9:15～16:40(意見交換会 18:30～)

対象：受講を希望する県・市町村職員(定員100名)

会場：大分県自治人材育成センター

内容：「公務員キャリアデザインスタジオ」代表や、「NPO法人 二枚目の名刺」メンバーとして活動されている、さいたま市職員 島田 正樹氏による講演の他、県内自治体職員の自主活動グループの活動紹介、交流・意見交換会などを行う予定です。

OJICの図書室を活用してみませんか?

OJICでは、自治体職員の皆さんに図書の貸出を行っています。皆さん、OJICの1階に図書室があるのをご存知でしょうか。ここでは、自治体職員向けの図書・雑誌等を多数取り揃えています。図書の一覧は、OJICホームページに掲載しております。興味のある方は、是非お立ち寄りください。

★貸出方法：貸出簿に必要事項を記入

★貸出期間：1か月

★返却方法：OJIC事務室に持参又は郵送(本人以外でも可)



ご不明な点があれば事務局までお問い合わせください。

新採用職員（農業等現場体験）研修

対 象：平成30年度新採用職員 148名

実施日：6月～10月（各所半日から1日間）



新採用職員を対象に、各振興局単位で12カ所に分かれて、スイートコーン、カボスの収穫、農作物の片付け作業、漁協でのヒオウギ貝の付着物除去作業等を行いました。

今年は、台風の接近や猛暑など例年になく天候に左右されながらの実施となりました。そのような中、慣れない作業で大変だったと思いますが、久しぶりの同期と一緒に作業を行い、作業終了後は、達成感や満足感を感じているようでした。

今年から、受入先にNPO法人を追加して、ひまわりの刈り取りや地域の竹林整備も行いました。地域活性化や地域貢献に向けた取組状況など、現場の声もしっかりと聞くことができました。

受講者の声

- 農作業を今まで経験したことがなかったので、農家の方がどのようなことに気をつけて作業しているかなど現場の声を聞くことができ、貴重な体験となった。
- 少子高齢化が著しい地区が県内に多くある状況を見ると、若者の地域貢献が非常に重要であると感じた。

女性職員キャリア支援研修

対 象：採用後3年目の女性職員 62名

実施日：9月11日（火）

ライフイベントを見据えた早期の段階で、仕事と私生活の両立や今後のキャリア形成について学ぶために、採用後3年目の女性職員を対象として「女性職員キャリア支援研修」を実施しました。

中部振興局小春主査による体験談や、（株）サイゼラーニング代表取締役の高見真智子氏による「キャリアデザイン講座」を受講しました。今後のキャリアを具体的にイメージし、自分自身の強みに気づききっかけとなったのではないかと思います。またペアワークを通じて、お互いの不安や悩みを共有することができ、前向きになることができた職員も多かったようです。



受講者の声

- 仕事と家庭を両立しながら、やりたいことに挑戦している先輩の話を聞き、自分もそうなりたかった。
- 大切なもの、本当にやりたいことは何かを考えることが大事だということが分かった。今の仕事を一生懸命やろうと思った。

採用2年目職員研修

対 象：採用後2年目職員等 151名

実施日：10月～11月（共通日1日、組別日2日（3組実施））

採用後2年目を迎え、少しずつ仕事の課題が見え始めてきた職員が、さらに県職員としてのレベルアップに必要な知識を習得するため、本研修を実施しました。

豊泉荘での宿泊研修として行われた組別日では、1日半にわたり「政策基礎講座Ⅱ」（講師：一般社団法人日本経営協会 西野 毅郎氏）を受講しました。ロジカルシンキングの基礎を学び、業務改善や問題解決などについて多くの討議や演習を行う中で、「考えること＝問う」ことの重要性を認識できたようです。また、SWOT分析による「県の政策ミニコンペ」を行った際には、ゼロベース思考によるユニークな政策が数多く生まれ、会場は大変盛り上がりしました。



受講者の声

- 自ら考える力、自ら行動する力を身につけるために基礎となる様々な思考法を学ぶことができました。
- 必要な知識を習得しながら、職員同士の交流を深めることができ、大変有意義な研修でした。

トップマネジメント研修

対 象：知事、副知事、部長級・次長級職員及び所属長 277名

実施日：9月21日（金）

講 師：元 富士通株式会社 取締役副会長 伊東 千秋 氏



この研修は、自治体経営についての県幹部職員の意識を変革し、視野を広げ、県の将来ビジョン構築に資することを目的として、毎年、著名講師を招聘し開催しています。

今年度は、元 富士通株式会社 取締役副会長の伊東千秋氏をお招きし、「シリコンバレーから見える未来社会」と題してご講演いただきました。

講演では、シリコンバレーで広がるシェアビジネスや、わずか5年で急激に進化したAI技術、ICTによる信用創造のほか、今後シリコンバレーが目指すものづくりなど、盛り沢山の内容を分かりやすくお話いただきました。

その中で、「大分も日本のシリコンバレーを目指してください。西海岸の田舎町が世界を牽引する原動力は、『ディスラプト』＝破壊、既存勢力を壊そう、ということ。大分からも是非このディスラプトを起こして欲しい。そのためにはお金だけではなく、行政のバックアップが必要。」という熱いメッセージもいただき、講演後は、活発な質疑応答が行われました。

市町村職員研修

新採用職員研修(後期)

対象：平成30年度新規採用職員及び平成29年度中途採用職員 270名

実施日：10月(全3組)

講師：(株)話し方研究所 菊池 雅彦氏 橋本 秀雄氏
佐伯市あまべ商工会 谷口 里美氏
別府大学文学部 教授 佐藤 敬子氏
(株)インソース 長岡 浩之氏
県職員講師、市町村職員講師



本研修は、採用後半年を経過した職員に「新人職員としての立場・役割・仕事などを自分なりに振り返る」「職員としてこれからどうあるべきかを考える」「仕事を円滑に進めるために必要な基礎的能力の育成を図る」ことを目的に、全3組・各3日間の日程で実施しました。

研修では7つの講座(「コミュニケーション能力向上」「地方自治制度」「法令の読み方」「講話」「人権と同和問題」「ビジネスマナーフォローアップ」「仕事の進め方」)を実施し、研修生は座学やグループワークを通して、これから公務員として業務を行っていく上で必要となる知識やマナー等を学びました。

また、1日目の研修後に行われた意見交換会では、他市町村の職員と積極的に交流し親睦を深めている様子も見受けられました。

ぜひ、研修生の皆さんには前期及び後期の研修で学んだ15講座の内容を実践し、今後の業務や公務員生活に活かしていただきたいと思います。



- 他の自治体の方が同じようなことに悩み、頑張っている姿に勇気づけられました。
- 自分にとっての常識と相手にとっての常識の違い、そこを埋めるための説明の仕方、対お客様相手だからこそ気をつけた言葉を使っていきたいと感じました。
- 前期よりも詳しく細かい部分を学ぶことができました。今後スキルアップするために必要なことが多く、日々の業務に役立てていきたいです。
- 仕事の優先度やゴールを明確にすること等、今の自分ができていないことが多く見つかりました。今後、少しでも生活や仕事で活用していきたいです。

【市町村職員中央研修所
「巡回アカデミー」】

公共施設マネジメント研修

対象：市町村長部局、教育部局、水道部局などすべての部局における

公共施設やインフラ(校舎、道路、橋りょう、上下水道など)の管理・運営担当 25名

実施日：8月29日(水)～31日(金)

講師：(一社)不動産証券化協会専務理事・元東京大学公共政策学院客員教授 内藤 伸浩氏

ホルトホール大分統括責任者 是永 幹夫氏

関東学院大学大学院経営戦略研究科教授 石原 俊彦氏

関東学院大学建築・環境学部准教授、首都大学東京都市環境学部客員准教授 李 祥準氏

早稲田大学理工学術院総合研究所研究員 平井 健嗣氏

本研修は、市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)の研修に参加困難な地域の市町村職員を対象とした、市町村アカデミーにおける高度で専門的なカリキュラムを短期研修として広域研修機関において実施する「巡回アカデミー」として、OJICで開催されました。



これまで整備された公共施設が、今後更新の時期を迎える中、自治体の財政状況の逼迫化や人口減少・少子化による公共施設の利用需要の変化を踏まえ、長期的視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを進めていく必要があるため、今回の研修では、全国有数の講師を招き、公共施設マネジメントの考え方や方法論等について演習を交えながら学びました。



- 公共施設マネジメントと都市計画との整合性についてどのような発展的展開をすればよいかイメージできた。
- 民間での手法や理論など公共施設マネジメントに生かせる内容でとても分かりやすかった。
- 行政に欠けている部分を指摘され、現状を考え直す良い機会となった。

合同研修

基礎法務研修(法の解釈適用から条例制定まで)

対 象：県職員 9名、市町村職員 45名
実施日：10月1日(月)～2日(火)
講 師：北九州市職員 森 幸二氏

「投票所に友達と入れるか、幼児と一緒にならどうなる？」など、自治体職員が直面する身近な事例を法的に解釈する手法を学ぶ研修でした。地域の課題を解決し、住民福祉の向上を図るためには、現行法令を適法かつ効果的に解釈・適用するとともに、各自治体の事情に合った条例・規則を制定する必要があります。法の解釈適用、条例・規則・要綱の使い分け、財産管理、指定管理、債権管理、条例制定などの自治体法務における主な項目について、図表を用いて体系的に熱く解説する講師の姿が印象的でした。

台風による7月からの延期や国道10号通行止めによる開始時間の遅れなど、ハプニングに見舞われましたが、当研修が期待を上回る満足度であったとの研修生の声が多く聞かれました。



受講者の声

- 基礎的なことが分かりやすく学べた。
- 採用時から身につけておくべき内容だと思った。

簿記・会計研修Ⅰ(入門)、簿記・会計研修Ⅱ(公会計企業分析)

対 象：県職員 122名、市町村職員等 173名
実施日：6月、9月
講 師：日本ビジネスドック(株) 関口 康尚氏・貫井 宏氏



今年度の簿記・会計研修は、6月と9月に実施しました。

講師は、日本ビジネスドック株式会社の関口康尚氏らが務め、難しいと思われがちな簿記を、身近な例を用いながらユーモアを交えた熱心な指導で、分かりやすく解説して이었습니다。

簿記なのにグループ形式で行うこの研修。演習問題ではグループ内で互いに教え合う姿がみられ、より理解を深めることができたのではないのでしょうか。

毎年、受講者の満足度・理解度が高く、今回も「楽しく学ぶことができた」「本を読んでも理解できなかったことが理解することができた」「もっと勉強したくなった」との声が聞かれました。

受講者の声

- B/S・P/Lで経営状況等がイメージできるようになった。
- 決算書を見る際に活かしたい。

地域政策スクール

受講者：県職員10名、市町村職員5名
実施日：平成30年6月～平成31年2月(延べ27日間)
専任講師：九州大学大学院法学研究院 教授 嶋田 暁文氏

6月に開講した地域政策スクールは、中間まとめ発表会を無事に終了し、現在は研究報告書作成の大詰めを迎えています。これまで、多くの文献や論文を読み込み、県内外の関係機関のヒアリングなどをとおして、研究テーマに関する調査、研究を重ねてきました。嶋田講師の厳しくも情熱ある指導のもと、「行政が取り組まなければならない問題なのか」「収集したデータをどう分析すればよいか」など、研究テーマにいかに向かい合っていくか頭を悩ませながら取り組んできました。問題が明確にならず、苦しい日々もあったと思いますが、ようやくゴールも見えてきたところです。

2月5日には、県庁で研究成果発表会を予定していますので、ぜひたくさんの方に来ていただきたいと思っています。(詳細については、後日お知らせします。)



地震班

◎班長 ○副班長

「地震から命を守るために」

- | | |
|---------------|-------|
| ○大分県自然保護推進室 | 水嶋 孝介 |
| ◎大分県玖珠土木事務所 | 小野 佑介 |
| 大分県立病院 | 小野 香織 |
| 豊後大野市まちづくり推進課 | 後藤 祥 |
| 由布市挾間振興局 | 上村 真路 |

交通班

◎班長 ○副班長

「みんなにやさしい公共交通」

- | | |
|------------|-------|
| 大分県税務所 | 宮脇 進 |
| ◎香々地青少年の家 | 一好 建志 |
| ◎埋蔵文化財センター | 堺井 裕史 |
| 大分市市民税課 | 橋本 翔太 |
| 国東市社会教育課 | 守光 正 |

農業班

◎班長 ○副班長

「多様な“担い手”確保大作戦」

- | | |
|----------|-------|
| 大分県南部振興局 | 工藤 遼一 |
| 大分県西部振興局 | 橋本 尚也 |
| ○大分県税務所 | 本田 宜彦 |
| 大分県税務所 | 下鶴 大 |
| ◎九重町総務課 | 永樂 剛士 |

編集後記

今年も気がつけば残り1ヶ月となりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。
OJICは窓が多くとても開放的である一方、冬は窓からの冷気が厳しく暖房が欠かせない状況です。研修室の温度管理については、適切に行うように努めているところですが、座席位置によっては調節が難しい場合もあります。ご自身でも調節ができるような服装等で研修にご参加いただくようご協力お願いします。
さて、現在、OJICでは来年度の研修計画を作成しています。来年度も皆さんのスキルアップに役立てる研修を提供していきたいと思っておりますので、引き続きOJICをよろしくお願いいたします。(事務局)